



杉二だより

令和 5 年度 3 月号

杉並区立杉並第二小学校

〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1

TEL 03-3313-0564

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>

がんばった香りがする

3 月の声をきく季節となりました。

今年 1 年間杉並第二小学校の教育活動へのご協力・ご支援本当にありがとうございました。

今年度は、コロナ禍による規制がほぼ緩和され、ここ数年の閉ざされてきた活動を経て、人との対面による行事や実体験による活動が、学校教育の中では不可欠なものだとしみじみ感じ入っています。

画面上で人と接していても脳内神経細胞が機能せず、共感力は高まらないという小児脳科学者の話を聞いたことがあります。特に小さい世代は成長期にあるため、リアルな体験がとても必要だとも。

小学校では、子どもは、たまたま出会った教室の中で、助け合ったり、ぶつかり合ったり、笑い合ったり、喜び合ったりしながら友達と生活をし、またさまざまタイプの教員や大人と関わりながら、自分なりの「共感力」を育てていきます。もちろんスクリーンやモニター画面を通して「共感力」を育むことはできると思うのですが、やはり感情を含めた身体を伴うやりとりは何にも代えがたいものではないでしょうか。

そもそも子どもに限らず、人が、人として、本質的に欲しているのは、「質感」を伴うリアルなやりとりです。その量が増えていくことで、自然とどんどん質は高まっていきます。

その「質」が高まれば、困りごとにも気軽に相談しやすくなるし、ケア的な関係も高まっていきます。そういう関係を意識して育てていく場のひとつが学校教育ではないでしょうか。

この時期、人とのつながりのなかで物事を成し遂げた経験を積んだ子ども達はどこか、誇らしげな佇まいを見せてくれます。

そして、どの子ども、ぐんと大人っぽく変わっていく表情になります。昨年4月とは違った成長した姿です。思わず、「がんばったね。」とか「がんばっているね。」と声をかけたくくなります。

身長や体重の伸び、学力の伸び、体力の伸びなど見える面での子どもの成長はもちろんですが、その中でも見えない部分、この1年間、人とのかかわりの中で、一生けんめい、その子なりにがんばり続けてきたこと。

それが、そこはかたなくその子のたたくまいから漂ってくるもの。ちょっと誇らしい子どもの表情から漂ってくる誰のものでもない、その子だけの「がんばり」。

ぜひ、修了式、卒業式には、ご家庭でもたくさんその子だけがもつ「がんばり」を、褒めてあげてください。

3月のあいさつ標語

あいさつで ともだちいっぱい 杉二小

3年児童作品

あいさつで みんなの体 スイッチ ON

5年児童作品

「ありがとう！」笑顔の花が 咲く瞬間

6年児童作品

3月の生活目標

「一年間のまとめをしよう」

この1年間で様々な行事を経験したり、学習に取り組んだりしてきました。進級する前に1年間の振り返りをして、自分の成長したことや来年度の目標などについて思いをめぐらせてみましょう。

今年は長く親しんだ旧校舎から新校舎へ引っ越しをしました。図工の日で作品を鑑賞しながら、思い出を振り返ってみてはどうでしょうか。